

人文社会科学部後援会事業報告書

申請・報告者氏名： 付 月

事業区分：保護者との連携事業 学生の教育研究活動支援
学生の就職活動支援 学生の地域貢献
学生の生活向上 その他

対象学年：1年次 2年次 3年次 4年次

参加学生数： 3 人

報告内容・使用経費：

【日時】 2020年1月7日（火）

【事業概要】

国際法ゼミナールでは、日本と世界におけるさまざまな人権問題の過去と現在を見つめ、あるべき未来について考えるために、毎年取り組むテーマを決めて勉強しています。座学だけでなく、資料館や博物館に赴いてビジュアル資料等を見学し、当事者の話を聞くなどの実地学習も行っています。

今年度は、「難民と収容について考える」をゼミで取り組むテーマの一つとして、文献による事前勉強を行なった上で、茨城大学の所在する茨城県牛久市にある外国人を収容する施設「東日本入国管理センター」を訪問し、支援者および被収容者の声を直接聞く機会を設けました。参加学生からは、「これまで難民申請者を含む外国人の収容問題について勉強してきたので、頭では分かっていたつもりだったが、実際に行ってみると、生身の人間がこんなに身近なところで、長期間、しかも家族と会うこともままならない状態で収容されていることに衝撃を受けました。」との感想が聞かれました。

この訪問は、支援団体の協力によって実現したもので、この場をお借りして深く御礼を申し上げます。

経 費： 7,000 円

内 訳：交通費補助 3,500円×2名=7,000円

(3名のうち、1名については当支援費を既に受けているため、2名分を計上いたします。)

